

|           |                 |          |             |
|-----------|-----------------|----------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 文化会館自主文化事業      | 担当部課     | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-05-001-01 |          |             |
| 款: 教育費    | 項: 社会教育費        | 目: 文化会館費 |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |         |
|-------------|--|------------|--------|---------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ【社会減抑制】   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価      |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 1.ソフト事業 |
| 事業の目的       | <p>「市民が主役の会館」を運営基本方針の柱に掲げ、それぞれのホールの特徴を活かしながら運営し、市民の芸術・文化の振興と心豊かなまちづくりに寄与するとともに、朝来市の存在を全国に示していくこと。</p> <p>その重点基本方針は以下の6点である。</p> <p>①市民の参画・協働による会館運営を行う。<br/>                 ②市民に、優れた舞台芸術を鑑賞・学習する機会を提供する。<br/>                 ③豊かなコミュニティ形成のできる場を提供する。<br/>                 ④子どもたちが豊かな感性を育く場を提供する。<br/>                 ⑤将来の芸術・文化の発展に必要な人材の育成を図る。<br/>                 ⑥朝来市のエネルギーを発信できるホール運営をめざす。</p>  |            |        |         |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 * 市外からの利用もあり  | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単位 人    |
| 事業の実施内容等    | <p>○以下の事業について、文化会館運営委員会に諮り、各文化会館の特性を活かした自主文化事業を実施した。(鑑賞型事業・アウトリーチ事業・市民普及型事業・市民参加型事業等の実施)</p> <p>①兵庫県警察音楽隊ふれあいタウンコンサート(吹奏楽)<br/>                 ②龍谷大学吹奏楽部演奏会(吹奏楽)<br/>                 ③華原朋美コンサート(J-POP)<br/>                 ④長谷川真弓ソプラノコンサート(クラシック)<br/>                 ⑤ペビーカーで行く、クラシックコンサート(クラシック)<br/>                 ⑥第12回ASAGO国際音楽祭2016(クラシック ASAGO国際音楽祭実行委員会主催)<br/>                 ⑦第25回ジュピターホール歌謡祭(市民参加・ジュピターホール振興協会主催)<br/>                 ⑧メインホールキネマ(映画:後妻業の女)<br/>                 ⑨大阪交響楽団名曲セレクション2017(クラシック)<br/>                 ⑩春休みPAC子どものためのオーケストラコンサート(クラシック)</p> <p>自主事業外の事業<br/>                 兵庫県立ピッコロ劇団55回公演 但馬公演(演劇)※<br/>                 第3回朝来市合唱祭(朝来市共催)(市一般会計からの支出あり)<br/>                 淡路人形芝居・落語コラボ公演(朝来市共催)</p> |            |        |         |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分           | 平成28決算(円)  | 説明等   | 前年度決算(円)   |
|---------------|------------|---|------------|
| 8.報償費         | 838,020    | ボランティアスタッフ費用、現地オペレーター費用                     | 955,515    |
| 9.旅費          | 0          | 前年度分:自主事業出演者旅費(直接払い分)                       | 186,760    |
| 11.需用費        | 2,912,316  | 看板作成、ポスター・チラシ・プログラム・チケット等印刷費                | 2,980,010  |
| 12.役員費        | 965,415    | ピアノ調律料、折込・新聞広告料                             | 647,706    |
| 13.委託料        | 16,579,944 | 出演者委託料、駐車場整理委託料、入場券販売委託料                    | 16,006,211 |
| 14.使用料及び賃借料   | 622,742    | 著作権使用料、映画フィルム借上料                            | 478,221    |
| 19.負担金補助及び交付金 | 1,380,000  | ジュピターホール歌謡祭補助金                              | 1,500,000  |
| 合計            | 23,298,437 |   | 22,754,423 |
| 財源内訳          |            |   |            |
| 特定国庫支出金       |            |   |            |
| 特定県支出金        |            |   |            |
| 特定地方債         |            |   |            |
| 特定その他         | 22,579,900 | 市民課費の材料費(13,300,000)、ふれあいセンター(1,000,000)    | 9,301,200  |
| 一般財源          | 718,537    | 入場料収入・参加料(8,404,800)、自治総合センター助成金(2,800,000) | 13,453,223 |
| 合計            | 23,298,437 |   | 22,754,423 |
| 国庫支出金を除いた比率   | 100.00%    |   |            |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| 【1】節区分          | 【2】説明                    | 年 度        |            |            |            |
|-----------------|--------------------------|------------|------------|------------|------------|
|                 |                          | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       |
| 8.報償費           | ボランティアスタッフ費用、現地オペレーター費用  | 445,600    | 510,284    | 955,515    | 838,020    |
| 9.旅費            | 自主事業出演者旅費(直接払い分)         | 0          | 0          | 186,760    | 0          |
| 11.需用費          | 看板作成、ポスター等印刷費            | 2,566,966  | 2,275,989  | 2,980,010  | 2,912,316  |
| 12.役員費          | ピアノ調律料、折込・新聞広告料          | 853,441    | 747,517    | 647,706    | 965,415    |
| 13.委託料          | 出演者委託料、駐車場整理委託料、入場券販売委託料 | 22,636,738 | 23,996,357 | 16,006,211 | 16,579,944 |
| 14.使用料及び賃借料     | 著作権使用料、映画フィルム借上料         | 149,596    | 405,121    | 478,221    | 622,742    |
| 19.負担金補助及び交付金   | ジュピターホール歌謡祭補助金           | 1,491,000  | 1,300,000  | 1,500,000  | 1,380,000  |
| 事業費計            |                          | 28,143,341 | 29,235,268 | 22,754,423 | 23,298,437 |
| 【4】正規職員人件費      |                          | 5,448,000  | 5,434,000  | 5,796,000  | 5,011,850  |
| 【6】臨時職員人件費      |                          | 2,543,000  | 2,142,000  | 1,739,000  | 1,951,950  |
| 【6】総合計          |                          | 36,134,341 | 36,811,268 | 30,289,423 | 30,262,237 |
| 財源内訳            |                          |            |            |            |            |
| 特【7】国庫支出金       |                          |            |            | 0          | 0          |
| 定【8】県支出金        |                          |            |            | 0          | 0          |
| 財【9】地方債         |                          |            |            | 0          | 0          |
| 財【10】その他        |                          |            |            | 9,301,200  | 22,579,900 |
| 【11】一般財源        |                          | 36,134,341 | 36,811,268 | 20,988,223 | 7,682,337  |
| 【12】合計          |                          | 36,134,341 | 36,811,268 | 30,289,423 | 30,262,237 |
| 【13】国庫支出金を除いた比率 |                          | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%    |

4. 成果指標等

| 【1】事業の活動を表す数値   | 単位 | 年 度  |      |      |      |
|---|----|------|------|------|------|
|   |    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 自主文化事業開催回数  | 回  | 11   | 10   | 11   | 10   |
| <p>《変化の理由》<br/>                     入場率の低水準により入場料収入が多く見込めないことから、公演本数についてはここ近年10~11本となっている。ただ、共催事業として数本行うことで、自主文化事業の減少分を補う形となっている。(共催事業は上記数値には含まれない)</p>       |    |      |      |      |      |
| 【2】事業の成果を表す数値   | 単位 | 年 度  |      |      |      |
|   |    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 入場者数  | 人  | 3916 | 3800 | 5813 | 4948 |
| <p>《変化の理由》<br/>                     入場者数については、減少気味であったが27・28年度は若干改善した。しかし利用した市民の割合を見てみると下がっていることから、28年度はジャンルに偏りがあったため(クラシック5本、吹奏楽2本)、同じ市民のリピーターが多かったと言える。</p> |    |      |      |      |      |

5. 今後の方向等

|             | ①  | ②  | ③  |
|-------------|--|--|--|
| 現在実施している課題  | アンケートにも意見があるが、広報の方法について有効な手段がないか。  | 入場率の低さ   | 高齢者が、遠方での開催や、夜開催の公演になかなかお越しいただけない(移動手段や終演が遅くなること)  |
| 今後の方向性、見通し等 | 以前はテレビなどでCMを打つなどしていたが、近年は季節的にも難しい、代わりにHPやSNSなどを活用した広報の充実を図るほか、従来からの手段(新聞折込、ポスター掲示等)も併せて、より丁寧に市民に告知できるように努める。 | アンケートなどから市民の公演希望・要望を集約し、各ジャンルでなるべく大多数の希望に沿った公演を選んで市民の関心を向けさせる。 | 高齢者をターゲットとした公演は日中開催としている。「送迎バスなどあれば」という意見もあるが、現状はコミュニティバスやJRなどをご利用いただくほかは、シャトルバスの運行は難しい。 |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額 | 年 度   |       |       |       |
|------------|-------|-------|-------|-------|
|            | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| 入場者数       | 9,227 | 9,687 | 5,211 | 6,116 |
|            |       |       |       |       |

《変化の理由及びそれへの対応策》  
 成果単位あたりの金額は改善してきている。目標値としては現状達成していないが、徐々に改善できるよう前述の今後の方向性のとおり前進したい。広報・告知が最大の課題であることから、近隣市町にも新聞折込を行っていきため、印刷費や手数料関係の予算確保に努める。芸術文化鑑賞した割合を少しでも高めたい。文化会館の催しを知ってもらい、一度関心を持っていただき、その関心を継続していただけるものと思う。

7. 事業環境

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)  | J-POPコンサートを筆頭に伝統芸能(歌舞伎など)、大編成クラシックなど大きな金額となりやすいものが人気となっている。毎公演時にアンケートをとり集計している。             |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較 | 兵庫県は他府県に比べ、文化会館が特に多く、同様の公演を両園が揃うものは行えないため、比較し難いが、徐々に各ホールで連携して公演にかかる交通費などを安くしていくなど話し合いの場もある。 |
| 【3】代替サービスの有無              | 貸館で企業等による歌謡コンサート等催しが実施されるが、対象者が限定され、一般向けとは言えず、代替サービスとしては成り立たないことが多い。                        |

8. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続的に行っていく必要がある。特に、都市部のような民間サービスもあって多様で充実した芸術文化鑑賞の機会があるという状況にはないため、このような格差をなくすためにも、市が芸術鑑賞の機会を提供していかなければならない。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 1   | 抜本的見直し | 市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続して実施する必要がある。すべての市民が対象であるが、一度に全ての市民を対象とした事業を実施することは、困難であり、その年毎に選別した事業展開が必要となる。                             |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |  |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続して実施する必要がある。すべての市民が対象であるが、一度に全ての市民を対象とした事業を実施することは、困難であり、その年毎に選別した事業展開が必要となる。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し | 市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続して実施する必要がある。すべての市民が対象であるが、一度に全ての市民を対象とした事業を実施することは、困難であり、その年毎に選別した事業展開が必要となる。 |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |  |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     |      |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由                  |
|--------|-----------------------|
| 拡充     | 継続実施しながら、内容を検討していくこと。 |
| ○ 継続実施 |                       |
| 改善見直し  |                       |
| 抜本的見直し |                       |
| 休止     |                       |
| 廃止     |                       |

|           |                 |          |             |
|-----------|-----------------|----------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 文化会館施設等整備事業     | 担当部課     | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-05-300-01 |          |             |
| ※: 教育費    | Ⅰ: 社会教育費        | Ⅱ: 文化会館費 |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |           |
|-------------|--|------------|--------|-----------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ(社会減抑制)   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価        |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 3.施設等整備事業 |
| 事業の目的       | ・地域文化の拠点として維持できるよう、文化会館の設備・施設更新を行う。<br>・利用者が安心・安全に施設を使用できるように設備・施設を年次的に更新する。   |            |        |           |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 *市外からの利用もあり   | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単位 人      |
| 事業の実施内容等    | (1)文化会館の各設備・施設更新事業<br>・舞台/音響/照明/電気/空調/消防/建築設備、建築物関係、その他の設備・施設を年次的に更新する。<br>28年度は下記のとおり実施した。<br>①[ささゆり]空調機 中性性能フィルター交換<br>②[ジュピター]空調機 中性性能フィルター交換<br>③[ジュピター]通用ロインターホン等新設およびセキュリティロック交換工事<br>※館内ITVシステム改修工事については29年度に繰越した |            |        |           |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分         | 平成28決算(円) | 説明等                        | 前年度決算(円)  |
|-------------|-----------|----------------------------|-----------|
| 11.需用費      | 1,710,720 | ジュピター-ささゆり 空調機中性性能フィルター交換  | 5,845,145 |
| 13.委託料      | 496,800   | ジュピターホールITVシステム改修工事設計委託料   | 0         |
| 15.工事費      | 413,856   | 通用ロインターホン新設及びセキュリティロック交換工事 | 3,456,000 |
| 合計          | 2,621,376 |                            | 9,301,145 |
| 財源内訳        | 特定財源      |                            |           |
|             | 国庫支出金     |                            |           |
|             | 県支出金      |                            |           |
|             | 地方債       |                            |           |
|             | その他       |                            |           |
| 一般財源        | 2,621,376 |                            | 9,301,145 |
| 合計          | 2,621,376 |                            | 9,301,145 |
| 国庫支出金を除いた比率 | 100.00%   |                            |           |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| [1]節区分          | [2]説明    | 年 度        |            |            |           |
|-----------------|----------|------------|------------|------------|-----------|
|                 |          | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度      |
| 11.需用費          | 大・中規模修繕  | 12,896,310 | 7,506,000  | 5,845,145  | 1,710,720 |
| 13.委託料          | 設計・監理委託料 | 0          | 928,800    | 0          | 496,800   |
| 15.工事費          | 大規模改修工事等 | 0          | 10,096,300 | 3,456,000  | 413,856   |
| 事業費計            |          | 12,896,310 | 18,531,100 | 9,301,145  | 2,621,376 |
| [4]正規職員人件費      |          | 2,188,000  | 1,161,000  | 1,550,000  | 0         |
| [6]臨時職員人件費      |          | 0          | 0          | 0          | 0         |
| [6]総合計          |          | 15,084,310 | 19,692,100 | 10,851,145 | 2,621,376 |
| 財源内訳            | 待        | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                 | 定        | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                 | 財        | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                 | 源        | 0          | 0          | 0          | 0         |
|                 | [10]その他  | 0          | 0          | 0          | 0         |
| [11]一般財源        |          | 15,084,310 | 19,692,100 | 10,851,145 | 2,621,376 |
| [12]合計          |          | 15,084,310 | 19,692,100 | 10,851,145 | 2,621,376 |
| [13]国庫支出金を除いた比率 |          | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%   |

4. 成果指標等

| [1]事業の活動を表す数値  | 単位 | 年 度  |      |      |      |
|--|----|------|------|------|------|
|  |    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 大規模修繕費・改修工事の件数   | 回  | 3    | 2    | 4    | 3    |
| <<変化の理由>><br>H25...[ジュピター大・小]舞台吊物改修、[ジュピター大]EVマイク修繕、自家発電機・バッテリー用触媒取替<br>H26...[ジュピター小]舞台吊物制御盤等改修、[ジュピター]LED照明器具取替工事、設計監理委託<br>H27...[ジュピター]ピアノオーバーホール(2台)、研修室等照明器具取替、[ジュピター小]舞台諸幕地取替工事<br>H28...[ジュピター]空調機中性性能フィルター交換、通用口セキュリティ工事、[ささゆり]空調機中性性能フィルター交換 |    |      |      |      |      |
| [2]事業の成果を表す数値  | 単位 | 年 度  |      |      |      |
|  |    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| <<変化の理由>>  |    |      |      |      |      |

5. 今後の方向等

|             | ①  | ② | ③ |
|-------------|--|---|---|
| 現在認識している課題  | 施設の老朽化に伴う修繕や耐用年数経過に伴う設備の更新が多く出てきている(ジュピターホール築28年目、生野メインホール築28年目、あさご-ささゆりホール築15年目)  |   |   |
| 今後の方向性、見通し等 | 年次毎に修繕計画を立てており、それに基づき修繕・設備更新を行う予定があるが、ホール設備の更新には多額の費用がかかるため、計画的に改修等できているとは言えない。利用費、施設名の改定を視野に入れ、修繕計画については順次更新を行い、また大規模改修も計画としてあげている。 |   |   |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額               | 年 度  |      |      |      |
|--------------------------|------|------|------|------|
|                          | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|                          |      |      |      |      |
| ≪変化の理由及びそれへの対応策≫<br><br> |      |      |      |      |

7. 事業環境

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見<br>(アンケートなど) | 安全に、また設備上のトラブルがなく安定した利用ができる施設。                                |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較   | 近隣市町のみならず、全国的にどのホールも経年劣化の問題はおこっており、安全に長寿命化させるためには大規模改修が必要である。 |
| 【3】代替サービスの有無                | 改修期間中の使用はできないため、小規模であれば市内他館での開催も可能である。民間の代替サービスはなし。           |

8. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| A 事業実施の緊急性  | 2   | 拡充     | 地域文化の拠点施設として、安全に、かつ安心して市民が利用できるように施設・設備の整備を、計画的に継続的に行っていく必要がある。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |   |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| A 事業実施の緊急性  | 2   | 拡充     | 利用者が安全に安心して利用できるよう、施設・設備等の整備を計画的に行う必要がある。しかしながら、市内のホール3施設については、建築から20数年経過し、老朽化が進んでいる。安全を最優先にし、計画を進める必要があるが、大規模修繕(リニューアル)も実施していく必要がある。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |   |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     |      |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由                                       |
|--------|--|
| 拡充     | 2次評価のとおりとする。<br>今後、公共施設再配置計画に合わせた見直しを行うこと。 |
| ○ 継続実施 |  |
| 改善見直し  |  |
| 抜本的見直し |  |
| 休止     |  |
| 廃止     |  |

|           |                 |         |             |
|-----------|-----------------|---------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 美術館企画展事業        | 担当部課    | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-07-200-01 |         |             |
| ※: 教育費    | ※: 社会教育費        | ※: 美術館費 |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |         |
|-------------|--|------------|--------|---------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ(社会減抑制)   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価      |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 1.ソフト事業 |
| 事業の目的       | 期間的にテーマを設定した芸術性の高い展覧会を開催し、より多くの市民が作品鑑賞、創作体験などを通して芸術に触れることによって、朝来市全体の芸術文化の振興を図る。  |            |        |         |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 *市外からの利用もあり   | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単位 人    |
| 事業の実施内容等    | 市民ニーズに適合した、より集客力の高い企画展の実施。<br>淀井作品の常設展示のほか、2階企画展示室および1階アトリエ室で行う企画展示の作品借用・返却、展示及び撤去、PR用ポスター・チラシ作成、チラシ折り込みなど。<br>平成29年1月から3月中旬にかけ、関西電力側による改修工事を実施。そのリニューアル記念特別展として「円空展」を開催。<br>(28年度実施企画展)<br>・兵庫県美術館同盟創立70周年記念会員あさご巡回展 (3/20~5/8)<br>・没後10年藤原吉志子回顧展 (5/14~6/26)<br>・作家の提案シリーズver.16 prive(静かな静寂)の中に…。クボタケン展 (5/14~6/26)<br>・あさご夏の昆虫展 むしむし大集合! (7/2~9/4)<br>・作家の提案シリーズver.17 西明寺末一展 (10/29~12/4)<br>・アートホール神戸写真展「こどもの世界〜愛〜」(12/10~12/25)<br>・アート2017 干支展 (12/3~1/5)<br>・ほほ笑みと祈り 円空展 (3/18~5/7)<br>・三浦悠「竹田城跡」写真展(3/18~4/16) |            |        |         |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分         | 平成28決算(円) | 説明等                  | 前年度決算(円)  |
|-------------|-----------|----------------------|-----------|
| 8.報償費       | 0         |                      | 30,000    |
| 9.旅費        | 103,440   | 作品借用返却等の職員旅費         | 102,640   |
| 11.需用費      | 1,225,573 | チラシ・ポスター・図録等印刷、看板作成等 | 1,358,437 |
| 12.役務費      | 242,239   | チラシ等送料、新聞折込料、作品保険料等  | 376,437   |
| 13.委託料      | 3,410,660 | 作品搬送展示撤去業務委託料        | 6,808,400 |
| 14.使用料及び賃借料 | 158,760   |                      | 0         |
| 合計          | 5,140,672 |                      | 8,675,914 |
| 財源内訳        |           |                      |           |
| 特定財源        |           |                      |           |
| 国庫支出金       | 2,500,000 | 電源立地地域対策交付金          | 2,500,000 |
| 県支出金        |           |                      |           |
| 地方債         |           |                      |           |
| その他         | 1,676,800 | 美術館使用料               | 2,551,650 |
| 一般財源        | 963,872   |                      | 3,624,264 |
| 合計          | 5,140,672 |                      | 8,675,914 |
| 国庫支出金を除いた比率 | 51.37%    |                      |           |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| 【1】節区分          | 【2】説明                | 年度         |            |            |           |
|-----------------|----------------------|------------|------------|------------|-----------|
|                 |                      | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度      |
| 8.報償費           | ギャラリートーク等講師謝礼        | 0          | 0          | 30,000     | 0         |
| 9.旅費            | 作品借用返却等の職員旅費         | 266,420    | 265,880    | 102,640    | 103,440   |
| 11.需用費          | チラシ・ポスター・図録等印刷、看板作成等 | 1,233,616  | 1,781,196  | 1,358,437  | 1,225,573 |
| 12.役務費          | チラシ等送料、新聞折込料、作品保険料等  | 953,932    | 382,709    | 376,437    | 242,239   |
| 13.委託料          | 作品搬送展示撤去業務委託料        | 3,878,500  | 6,388,679  | 6,808,400  | 3,410,660 |
| 14.使用料及び賃借料     | 展示作品借用料              | 1,385,000  | 0          | 0          | 158,760   |
| 事業費計            |                      | 7,717,468  | 8,818,464  | 8,675,914  | 5,140,672 |
| [4]正規職員人件費      |                      | 3,503,000  | 4,207,000  | 3,722,000  | 2,426,600 |
| [6]臨時職員人件費      |                      | 3,481,000  | 2,811,000  | 2,492,000  | 702,000   |
| [6]総合計          |                      | 14,701,468 | 15,836,464 | 14,889,914 | 8,269,272 |
| 財源内訳            |                      |            |            |            |           |
| 特[7]国庫支出金       |                      |            |            | 0          | 0         |
| 定[8]県支出金        |                      |            | 1,792,000  | 2,500,000  | 2,500,000 |
| 財[9]地方債         |                      |            | 0          | 0          | 0         |
| 源[10]その他        |                      |            | 3,271,350  | 2,551,650  | 1,676,800 |
| [11]一般財源        |                      | 14,701,468 | 10,773,114 | 9,838,264  | 4,092,472 |
| [12]合計          |                      | 14,701,468 | 15,836,464 | 14,889,914 | 8,269,272 |
| [13]国庫支出金を除いた比率 |                      | 100.00%    | 79.68%     | 71.18%     | 51.37%    |

4. 成果指標等

| 【1】事業の活動を表す数値   | 単位 | 年度     |        |        |        |
|---|----|--------|--------|--------|--------|
|   |    | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   |
| 企画展開催回数   | 回  | 13     | 11     | 10     | 9      |
| <<変化の理由>><br>25年度は、全館使用ではなく展示室ごとに異なる企画展を開催することができたので、回数が多くなっている。<br>平成28年度は、美術館改修工事に伴う閉館期間があったため、開催数が少ない。                                 |    |        |        |        |        |
| 【2】事業の成果を表す数値   | 単位 | 年度     |        |        |        |
|   |    | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   |
| 企画展入館者数(延べ人数)   | 人  | 25,134 | 20,801 | 13,032 | 14,378 |
| ※入館者数がダブルカウントとなる場合あり  |    |        |        |        |        |
| <<変化の理由>><br>25年度、26年度には集客力のある企画展を春や夏の活動が活発になる時期に開催したが、27年度は、夏の企画展の来館者が少なかった。28年度は、夏休み企画「昆虫展」とリニューアルオープン記念「円空展」で来館者数が伸び、前年度に比べて来館者数が増加した。 |    |        |        |        |        |

5. 今後の方向等

|             | ①   | ② | ③ |
|-------------|---|---|---|
| 現在認識している課題  | 企画展の来館者数が伸び悩んでいる。   |   |   |
| 今後の方向性、見直し等 | アンケートを設置して来館者の意見や要望も参考にしながら、限られた予算の中で、来館者増加につながる展覧会を企画する。 |   |   |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額   | 年 度  |      |       |      |
|--|------|------|-------|------|
|  | 25年度 | 26年度 | 27年度  | 28年度 |
| 企画展入館者数(延べ人数)<br>※入館者数がダブルカウントとなる場合あり  | 585  | 761  | 1,143 | 575  |
| ≪変化の理由及びそれへの対応策≫<br>28年度は、公的施設からの作品借用等、展示業務委託にかかるコスト削減により、前年度比で1人当たりの金額が下がった。効率的な巡回展の採用や、できるだけ借用料のかからない公的施設所蔵の作品を選定するなど、効率的な運営をする。 |      |      |       |      |

7. 事業環境

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見<br>(アンケートなど) | H28市民アンケート/<br>芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:34.75%<br>この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:28.18% |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較   | 無  |
| 【3】代替サービスの有無                | 無  |

8. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 芸術文化に親しむ機会を充実させるために、市民ニーズに適合した展示や、質の高い展示に加え、コストを低く抑えることができる巡回展なども組み入れながら、継続的に事業を実施していくことが望ましい。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 1   | 抜本的見直し |  |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |  |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 全ての市民を対象に、芸術文化に親しみ、心豊かな生活ができるように、継続的な事業実施が必要である。<br>事業ごとに年齢層等対象の的を絞った事業を展開し、事業推進することも必要である。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |   |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     | /    |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由         |
|--------|--------------|
| 拡充     | 2次評価のとおりとする。 |
| ○ 継続実施 |              |
| 改善見直し  |              |
| 抜本的見直し |              |
| 休止     |              |
| 廃止     |              |

|           |                 |        |             |
|-----------|-----------------|--------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 美術館美術活動支援事業     | 担当部課   | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-07-201-01 |        |             |
| ※ 教育費     | ※ 社会教育費         | ※ 美術館費 |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |         |
|-------------|--|------------|--------|---------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ(社会減抑制)   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価      |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 1.ソフト事業 |
| 事業の目的       | 絵画や陶芸などの各種講座、子供向けのワークショップや美術館に気軽に足を運べるイベントなどを開催し、市民に、質の高い芸術に触れる機会を提供するため、美術活動支援事業を実施する。<br>フランス・バルビゾン市との交流事業・国際交流事業を推進する。  |            |        |         |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 *市外からの利用もあり   | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単 位 人   |
| 事業の実施内容等    | 住民ニーズに適合した芸術文化イベントや講座を開催。<br>これまでの公募展受賞作家や地元芸術家・芸術グループなどの作品発表等、活動支援事業を実施。<br>(28年度の講座・イベント・支援層等)<br>・アウトリーチ活動 (丹波・篠山まちなみアートフェスティバル9/17~19、ひょうごミュージアムフェア10/1~2)<br>・チャイルドアートキャンプ (6/18~19、7/30~31、7/31~8/1、10/22~23)<br>・アートフェスティバル アートDE遊ぼう! (7/30~8/1)、総体験(7/30~8/1)、むしむし造形教室(7/23)<br>・芸術講座(絵画9回、陶芸12回)<br>・クリスマスワークショップ アロマキャンドル(12/11、12/17)<br>グラスルーディング(12/18)<br>・芸術村とフリーマーケット (5/22)<br>・風と光のページェント(10/29~30)<br>・ミュージアムコンサート マエストロ松下融幸レクチャー&ヴァイオリンコンサート(10/29)<br>兵庫朝来少年少女合唱団クリスマスコンサート(12/3)<br>・大賞受賞作家展 クボカシ展、西朗寺茶一展 ※企画展にも記載<br>・地元や若手等芸術発表活動支援 芸術師友の会会員交流美術展(10/1~16)<br>学校厚生会但馬支部美術展(10/20~25) |            |        |         |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分         | 平成28決算(円) | 説明等                        | 前年度決算(円)                               |           |
|-------------|-----------|----------------------------|--|-----------|
| 8.報償費       | 727,500   | 芸術講座等講師謝礼・イベント出演謝礼         | 890,000                                |           |
| 9.旅費        | 221,700   | 講師旅費                       | 319,720                                |           |
| 11.需用費      | 1,794,417 | チラシ・ポスター印刷、イベント用消耗品、講座材料費等 | 1,033,570                              |           |
| 12.役務費      | 449,210   | チラシ等送料、参加者保険、新聞折込料等        | 457,833                                |           |
| 13.委託料      | 1,887,744 | イベント駐車場警備、展示委託料            | 320,000                                |           |
| 14.使用料及び賃借料 | 1,277,200 | イベントテント、音響照明等借上料           | 538,800                                |           |
| 合 計         | 6,357,771 |                            | 3,559,923                              |           |
| 財源内訳        | 特定国庫支出金   |                            |  |           |
|             | 県支出金      | 1,523,000                  | 電源立地地域対策交付金                            | 1,559,000 |
|             | 地方債       |                            |  |           |
|             | その他       | 1,228,512                  | (一財)地域活性化センター助成金1,000,000、事業参加料228,512 | 188,800   |
|             | 一般財源      | 3,606,259                  |  | 1,812,123 |
| 合 計         | 6,357,771 |                            | 3,559,923                              |           |
| 国庫支出金を除いた比率 | 76.05%    |                            |  |           |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| [1]節区分          | [2]説明                      | 年 度        |            |           |           |
|-----------------|----------------------------|------------|------------|-----------|-----------|
|                 |                            | 25年度       | 26年度       | 27年度      | 28年度      |
| 8.報償費           | 芸術講座等講師謝礼・イベント出演謝礼         | 1,042,500  | 842,500    | 890,000   | 727,500   |
| 9.旅費            | 講師旅費                       | 413,100    | 491,190    | 319,720   | 221,700   |
| 11.需用費          | チラシ・ポスター印刷、イベント用消耗品、講座材料費等 | 1,588,124  | 1,342,004  | 1,033,570 | 1,794,417 |
| 12.役務費          | チラシ等送料、参加者保険、新聞折込料等        | 494,062    | 347,578    | 457,833   | 449,210   |
| 13.委託料          | イベント駐車場警備、コンサート等業務委託料      | 4,965,422  | 4,471,000  | 320,000   | 1,887,744 |
| 14.使用料及び賃借料     | イベントテント、音響照明等借上料           | 2,622,861  | 3,072,615  | 538,800   | 1,277,200 |
| 事業費計            |                            | 11,126,069 | 10,566,887 | 3,559,923 | 6,357,771 |
| [4]正規職員人件費      |                            | 3,466,000  | 3,651,000  | 3,533,000 | 2,856,600 |
| [5]臨時職員人件費      |                            | 2,945,000  | 2,543,000  | 2,337,000 | 438,100   |
| [6]総合計          |                            | 17,537,069 | 16,760,887 | 9,429,923 | 9,652,471 |
| 財源内訳            | 特[7]国庫支出金                  | 0          | 0          | 0         | 0         |
|                 | 定[8]県支出金                   | 8,000,000  | 6,000,000  | 1,559,000 | 1,523,000 |
|                 | 財[9]地方債                    | 0          | 0          | 0         | 0         |
|                 | 財[10]その他                   | 1,495,750  | 1,371,250  | 188,800   | 1,228,512 |
|                 | [11]一般財源                   | 8,041,319  | 9,389,637  | 7,682,123 | 6,900,959 |
|                 | [12]合 計                    | 17,537,069 | 16,760,887 | 9,429,923 | 9,652,471 |
| [13]国庫支出金を除いた比率 |                            | 28.10%     | 43.22%     | 56.21%    | 76.05%    |

4. 成果指標等

| [1]事業の活動を表す数値  | 単位 | 年 度   |       |       |       |
|--|----|-------|-------|-------|-------|
|  |    | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| イベントおよび講座開催回数  | 回  | 52    | 40    | 38    | 42    |
| <<変化の理由>><br>28年度秋に、ライトアップイベントやコンサートを新たに実施したため、前年比でイベント回数が増えた。また講座についても、夏休みに造形教室やクリスマスワークショップなどを実施したため、前年比で増えている。  |    |       |       |       |       |
| [2]事業の成果を表す数値  | 単位 | 年 度   |       |       |       |
| イベントおよび講座参加者数  | 人  | 2,732 | 5,365 | 3,426 | 3,214 |
| <<変化の理由>><br>28年度、前年比で講座の開催回数の増加とともに参加者数も増加したものの、イベントについては、阪神方面でのワークショップ参加者数が大きく左右し、若干減少した。H26年度は新長田アートプロジェクトイベントでのワークショップ参加者数3000人、H27年度は神戸ビエンナーレでのワークショップ参加者数1123人、H28年度はひょうごミュージアムフェアと丹波篠山まちなみアートフェスティバルで28人をおカウントしているが、これらの出張講座を除けば、28年度は300人以上の増となっている。 |    |       |       |       |       |

5. 今後の方向等

|             | ①   | ②  | ③ |
|-------------|---|--|---|
| 現在認識している課題  | ・人員不足により、新しい講座の検討・研究が滞っている。また受講者を増やすための取組工夫が十分でない。  | ・職員数の減少により、美術館外への出前講座(アウトリーチ活動)など積極的にやりたいが現実的には実施しにくい状況となっている。 |   |
| 今後の方向性、見通し等 | ・従来の講座の充実とチラシ、広報紙、パブリシティ、インターネット・SNSなどを活用した情報発信の充実化 | ・学校教育施設と連携したアウトリーチ活動の展開や、市内小中学生の美術館利用の拡大                       |   |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額   | 年 度   |       |       |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| イベントおよび講座参加者数  | 6,419 | 3,124 | 2,752 | 3,003 |
| <p>《変化の理由及びそれへの対応策》</p> <p>25年度、26年度は、「嵐に吹かれてコンサート」を開催したため委託料が膨らみ、一人あたりのコストが高い。但し26年度は阪神方面への出張講座参加者が多かったため、1人あたりの金額は25年度に比べて大相に下がっている。27年度は、同コンサート実施を見合わせたため、コストは下がった。28年度は新たな野外彫刻ライトアップイベントの委託料の増や、阪神方面での出張講座の参加者減が影響し、前年度に比べてコストが上がった。</p> |       |       |       |       |

7. 事業環境

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)  | H28市民アンケート/<br>芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:34.75%<br>この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:28.18% |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較 |  |
| 【3】代替サービスの有無              |  |

B. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 芸術講座やイベントを実施することにより、芸術文化活動の底辺の拡大、美術館へのリピーターの増加が期待できる。気軽に足を運べる身近な美術館として、また質の高い芸術に触れる機会を提供するために必要な事業であるため、継続的な実施が望ましい。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 1   | 抜本的見直し |  |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 2   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |  |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 幅広い年代の市民が、この事業を実施することにより、芸術文化に親しむ機会を提供し、感性をみがき、心豊かに生活できるよう、継続的な実施が必要。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 2   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |   |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     |      |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由                    |
|--------|-------------------------|
| 拡充     | 継続実施とするが、市民へのPRを促進すること。 |
| ○ 継続実施 |                         |
| 改善見直し  |                         |
| 抜本的見直し |                         |
| 休止     |                         |
| 廃止     |                         |



|           |                  |      |             |
|-----------|------------------|------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 美術館公募展事業         | 担当部課 | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-07-202-01  |      |             |
| ※ 教育費     | □: 社会教育費 □: 美術館費 |      |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |         |
|-------------|--|------------|--------|---------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ(社会減抑制)   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価      |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 1.ソフト事業 |
| 事業の目的       | 芸術に携わる人々が目標とし、また現在活躍中の作家のみならず、これから美術界で新しいポジションを得ていく作家たちをも応援し、新しい作家を育てる役割を担うため、公募展を実施する。  |            |        |         |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 * 市外からの利用もあり  | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単位 人    |
| 事業の実施内容等    | <p>あさご芸術の森およびあさご芸術の森美術館を会場とした公募展の開催と、優秀作品の展覧会を行い、優秀な作品や作家を顕彰するとともに、地元および作家同士の交流をはかり、情報発信を行った。</p> <p>あさごアートコンペティション<br/>屋内作品展と野外彫刻展を1年交代で行っているが、28年度は屋内作品展を行った。優秀作品展を美術館で開催するとともに、大賞作品を買い取り、美術館所蔵コレクションに加えた。</p> <p>全国こども絵画選抜展<br/>全国の小中学生を対象にした公募展で、「花と緑」「ふるさと」をテーマに全国公募。県内学校への要項配布および優秀作品展について、(財)兵庫県学校厚生会と共催。優秀作品展は、美術館のほか、生野メインホール・神戸の学校厚生会の展示場「アートホール神戸」でも実施した。</p> <p>朝来市市展「朝展」<br/>絵画・立体・書・写真の4部門での全国公募展。今年度は美術館が改修工事のため、さんとう緑風ホールで審査と優秀作品展を開催した。</p> |            |        |         |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分         | 平成28決算(円) | 説明等                       | 前年度決算(円)  |
|-------------|-----------|---------------------------|-----------|
| 8.報償費       | 3,264,094 | 審査員謝金、入賞・入選者賞金            | 3,288,103 |
| 9.旅費        | 304,670   | 審査員旅費、職員旅費                | 249,780   |
| 11.需用費      | 1,733,154 | 看板等消耗品、募集要項・チラシ印刷代等       | 1,957,359 |
| 12.役務費      | 947,246   | チラシ等送料、新聞折込料、広告掲載料、作品保険料等 | 1,036,142 |
| 13.委託料      | 1,034,124 | 作品搬送展示撤去委託料               | 409,860   |
| 14.使用料及び賃借料 | 0         | 審査用資材借上料                  | 47,520    |
| 合計          | 7,283,288 |                           | 6,988,764 |
| 財源内訳        |           |                           |           |
| 特定国庫支出金     |           |                           |           |
| 県支出金        |           |                           |           |
| 地方債         |           |                           |           |
| その他         | 590,000   | 公募展出展料                    | 402,500   |
| 一般財源        | 6,693,288 |                           | 6,586,264 |
| 合計          | 7,283,288 |                           | 6,988,764 |
| 国庫支出金を除いた比率 | 100.00%   |                           |           |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| 【1】節区分          | 【2】説明                   | 年 度        |            |            |            |
|-----------------|-------------------------|------------|------------|------------|------------|
|                 |                         | 25年度       | 26年度       | 27年度       | 28年度       |
| 8.報償費           | 審査員謝金、入賞・入選者賞金          | 3,390,256  | 3,399,425  | 3,288,103  | 3,264,094  |
| 9.旅費            | 審査員旅費、職員旅費              | 374,270    | 166,500    | 249,780    | 304,670    |
| 11.需用費          | 看板等消耗品、募集要項・チラシ印刷代等     | 1,891,017  | 1,913,904  | 1,957,359  | 1,733,154  |
| 12.役務費          | チラシ等送料、新聞折込料、広告料、作品保険料等 | 959,862    | 991,848    | 1,036,142  | 947,246    |
| 13.委託料          | 作品搬送展示撤去委託料             | 465,255    | 1,017,360  | 409,860    | 1,034,124  |
| 14.使用料及び賃借料     | 審査用資材借上料                | 67,750     | 0          | 47,520     | 0          |
| 事業費計            |                         | 7,148,410  | 7,489,037  | 6,988,764  | 7,283,288  |
| 【4】正規職員人件費      |                         | 3,395,500  | 3,651,000  | 3,533,000  | 2,717,300  |
| 【5】臨時職員人件費      |                         | 2,409,000  | 2,141,000  | 2,337,000  | 1,179,750  |
| 【6】総合計          |                         | 12,952,410 | 13,281,037 | 12,858,764 | 11,180,338 |
| 財源内訳            |                         |            |            |            |            |
| 特定国庫支出金         |                         | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 【8】県支出金         |                         | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 【9】地方債          |                         | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 【10】その他         |                         | 436,500    | 747,000    | 402,500    | 590,000    |
| 【11】一般財源        |                         | 12,515,910 | 12,534,037 | 12,456,264 | 10,590,338 |
| 【12】合計          |                         | 12,952,410 | 13,281,037 | 12,858,764 | 11,180,338 |
| 【13】国庫支出金を除いた比率 |                         | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%    | 100.00%    |

4. 成果指標等

| 【1】事業の活動を表す数値  | 単位 | 年 度   |       |       |       |
|--|----|-------|-------|-------|-------|
|  |    | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| 公募展の実施数  | 回  | 3     | 3     | 3     | 3     |
| ≪変化の理由≫  |    |       |       |       |       |
| 【2】事業の成果を表す数値  | 単位 | 年 度   |       |       |       |
|  |    | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| 公募展出品者数  | 人  | 2,773 | 2,610 | 2,216 | 1,697 |
| ≪変化の理由≫<br>子どもの絵画については、募集要項発送先を毎年変えており、年によって応募点数が変化している。彫刻作家人口が減ってきている。また全国的に公募展の数が少なく、出品意欲が低調になっている。但し、応募点数は減っているものの、質の向上はみられる。 |    |       |       |       |       |

5. 今後の方向等

|             | ①  | ②   | ③ |
|-------------|--|---|---|
| 現在認識している課題  | 全国こども絵画選抜展の出品者数が年々減少してきている。  | あさごアートコンペティションの出品者数が年々減っている。  |   |
| 今後の方向性、見直し等 | 兵庫県の全小中学校のほか、単行本抽出した全国の小中学校宛てに募集案内を送っているが、情報が担当教諭まで届いていなかったり、学校での図画工作の時間が減っている状況も懸念される。インターネットやSNSなどによっても広く公募していく。 | 出品にかかる輸送費用が高くなり、作家にとつての出品条件が厳しくなっている。主催者が輸送費の一部を負担するなどの、作家側の負担軽減について検討する。 |   |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額   | 年 度   |       |       |       |
|--|-------|-------|-------|-------|
|  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 28年度  |
| 公募展出品者数  | 4,671 | 5,089 | 5,803 | 6,588 |
| <変化の理由及びそれへの対応策><br>年々、出品点数が減ってきているため、一人あたりの単価が増えてきている。<br>公募情報が行き届いていないことも考えられるため、従来の募集方法に加えて、インターネットによる告知のほか、新聞などのメディアにも協力いただきながら、募集情報を広く周知していく。 |       |       |       |       |

7. 事業環境

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)  | H28市民アンケート/<br>芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:34.75%<br>この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:28.18% |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較 | 無  |
| 【3】代替サービスの有無              | 無  |

8. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 朝来市が次代を担う作家を育てるなど、芸術という切り口で独自の取り組みを行っているものであり、全国に情報発信することで朝来のイメージアップにも大いに貢献しているため、継続して実施することが望ましい。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 1   | 抜本的見直し |  |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |  |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 次代を担う子供たちや作家・市民が、芸術作品を制作することにより、より感性の優れた人材を育成することができる。また、全国に発信することにより、朝来市の情報を発信することができ、街おこしとしても継続して実施することが必要。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 2   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 2   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 2   |        |   |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     |      |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由         |
|--------|--------------|
| 拡充     | 2次評価のとおりとする。 |
| ○ 継続実施 |              |
| 改善見直し  |              |
| 抜本的見直し |              |
| 休止     |              |
| 廃止     |              |

|           |                 |         |             |
|-----------|-----------------|---------|-------------|
| 事務事業名(細目) | 美術館作品収集事業       | 担当部課    | 市民文化部 芸術文化課 |
| 予算コード     | 10-05-07-203-01 |         |             |
| ※. 教育費    | ☑. 社会教育費        | □. 美術館費 |             |

1. 事務事業の目的、事業内容

|             |  |            |        |          |
|-------------|--|------------|--------|----------|
| 総合計画体系      | 好きなまちでエコライフ(社会減抑制)   | 事業開始年度     | 評価区分   | 評価       |
| 14          | 豊かな心を育む文化芸術の振興   | H 17       | 事業種別   | 1. ソフト事業 |
| 事業の目的       | 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、コレクションを充実させる。  |            |        |          |
| 事業の受益者(対象者) | 朝来市民 * 市外からの利用もあり  | 受益者数(対象者数) | 31,271 | 単位 人     |
| 事業の実施内容等    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀井敏夫作品原型、作品等の収蔵保管</li> <li>・公募展覧上げ作品の収蔵</li> <li>・淀井作品や野外彫刻作品を含む収蔵作品の修繕管理</li> </ul> |            |        |          |

2. 事業費等(単位:円)

| 節区分         | 平成28決算(円) | 説明等                      | 前年度決算(円)  |
|-------------|-----------|--------------------------|-----------|
| 9. 旅費       | 106,340   | 作品調査等旅費                  | 51,000    |
| 13. 委託料     | 443,880   | 収蔵作品修繕委託料、野外公募作品制作・設置委託料 | 3,380,800 |
| 15. 工事費     | 0         | 収蔵作品設置工事、野外公募作品設置基礎工事    | 620,000   |
| 合計          | 550,220   |                          | 4,051,800 |
| 財源内訳        | 特定国庫支出金   |                          |           |
|             | 県支出金      |                          |           |
|             | 地方債       |                          |           |
|             | その他       |                          |           |
|             | 一般財源      | 550,220                  |           |
| 合計          | 550,220   |                          | 4,051,800 |
| 国庫支出金を除いた比率 | 100.00%   |                          |           |

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

| [1]節区分          | [2]説明                | 年 度       |           |           |           |
|-----------------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                 |                      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 28年度      |
| 9. 旅費           | 作品調査等旅費              | 108,140   | 96,280    | 51,000    | 106,340   |
| 11. 需用費         | 収蔵庫改修費               | 0         | 570,240   | 0         | 0         |
| 12. 役務費         | 収蔵作品保険料              | 0         | 297,000   | 0         | 0         |
| 13. 委託料         | 作品搬送、作品修繕、作品制作・設置委託等 | 3,168,000 | 146,880   | 3,380,800 | 443,880   |
| 14. 使用料及び賃借料    | 高所作業車借上料             | 0         | 52,999    | 0         | 0         |
| 15. 工事費         | 収蔵作品設置工事、公募作品設置基礎工事  | 525,000   | 0         | 620,000   | 0         |
| 事業費計            |                      | 3,801,140 | 1,163,399 | 4,051,800 | 550,220   |
| [4]正規職員人件費      |                      | 564,000   | 1,091,000 | 854,000   | 648,650   |
| [6]臨時職員人件費      |                      | 750,000   | 750,000   | 182,000   | 26,650    |
| [6]総合計          |                      | 5,115,140 | 3,004,399 | 5,087,800 | 1,225,520 |
| 財源内訳            | 特[7]国庫支出金            |           |           | 0         | 0         |
|                 | 定[8]県支出金             |           |           | 0         | 0         |
|                 | 財[9]地方債              |           |           | 0         | 0         |
|                 | [10]その他              |           |           | 0         | 0         |
|                 | [11]一般財源             | 5,115,140 | 3,004,399 | 5,087,800 | 1,225,520 |
| [12]合計          | 5,115,140            | 3,004,399 | 5,087,800 | 1,225,520 |           |
| [13]国庫支出金を除いた比率 |                      | 100.00%   | 100.00%   | 100.00%   | 100.00%   |

4. 成果指標等

| [1]事業の活動を表す数値   | 単位 | 年 度  |      |      |      |
|---|----|------|------|------|------|
|   |    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|   |    |      |      |      |      |
| ◀変化の理由▶   |    |      |      |      |      |
| [2]事業の成果を表す数値   | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 総コレクション数  | 点  | 910  | 918  | 926  | 955  |
| コレクションの増加数  | 点  | 2    | 8    | 8    | 29   |
| ◀変化の理由▶<br>朝来市観光大使の總作峰子氏から、「朝来散策」をテーマにした写真作品26点を寄贈していただいたので、大幅な増となった。 |    |      |      |      |      |

5. 今後の方向等

|             | ①  | ②   | ③                        |
|-------------|--|---|--------------------------|
| 現在課題としている課題 | ・収蔵場所の不足および収蔵環境の悪さ   | ・学芸員が多くの業務を兼務しているため、収蔵作品(淀井作品含)の調査・研究が十分できていない。 | ・作品収蔵についての基準がない。         |
| 今後の方向性、見直し等 | ・市内空き施設の改修による利用または、有利な財源活用で美術館周辺に整備することを検討するとともに、市内他施設への展示・設営など、収蔵量の軽減を図る。 |   | ・他館の状況を参考にしながら、独自の基準を作る。 |

6. 成果単位あたり金額(円)

| 【1】単位あたり金額   | 年 度       |         |         |        |
|--|-----------|---------|---------|--------|
|  | 25年度      | 26年度    | 27年度    | 28年度   |
| 総コレクション数   | 5,621     | 3,273   | 5,494   | 1,283  |
| コレクションの増加数   | 2,557,570 | 375,550 | 635,975 | 42,259 |
| <変化の理由及びそれへの対応策><br>25年度、27年度は、あさごアートコンペティションの屋外彫刻設置にかかる費用が発生したため、コストが高くなっている。今後29年度以降3回の屋外設置を予定しているが、隔年でコストが上がることになる。 |           |         |         |        |

7. 事業環境

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 【1】市民ニーズ・団体の意見<br>(アンケートなど) | H28市民アンケート/<br>芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:34.75%<br>この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:28.18% |
| 【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較   | 無  |
| 【3】代替サービスの有無                | 無  |

8. 一次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由  |
|-------------|-----|--------|---|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 優れた芸術作品の鑑賞の機会を提供するため、また野外彫刻設置による魅力ある空間を創出するために、美術館コレクションのさらなる充実、収蔵作品の適正な管理が必要である。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |   |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |   |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |   |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |   |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |   |
| C 市民ニーズの把握  | 1   |        |   |

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

| 評価項目        | ランク | 評価     | 評価理由   |
|-------------|-----|--------|--|
| 事業実施の緊急性    | 2   | 拡充     | 美術館は、淀井敏夫記念館でもあり、淀井の作品を中心に作品を収蔵している。また、朝来市にゆかりのある作家の作品等も収集しており、それらの収蔵作品の適切な管理や野外に設置している彫刻等の管理を適切に行い、市民の憩いの場としてや、作品に触れる機会の提供をするため、継続して実施することが必要である。 |
| A 事業実施の必要性  | 2   | ○ 継続実施 |  |
| 実施主体の妥当性    | 3   | 改善見直し  |  |
| サービス対象の広がり  | 3   | 抜本的見直し |  |
| B 事業内容等の適切さ | 3   | 休止     |  |
| 受益者負担の適切さ   | 3   | 廃止     |  |
| C 市民ニーズの把握  | 1   |        |  |

10. 外部評価

| 評価     | 評価理由 |
|--------|------|
| 拡充     |      |
| 継続実施   |      |
| 改善見直し  |      |
| 抜本的見直し |      |
| 休止     |      |
| 廃止     |      |

11. 最終評価

| 評価     | 評価理由         |
|--------|--------------|
| 拡充     | 2次評価のとおりとする。 |
| ○ 継続実施 |              |
| 改善見直し  |              |
| 抜本的見直し |              |
| 休止     |              |
| 廃止     |              |